

核燃・だまっちゃおられん津軽の会
第28回市民講座

下北はいかにして原子力半島になったか

Part 2：核燃料サイクル基地の建設

講師：隈元信一 氏

(1953年鹿児島県生まれ。元朝日新聞論説委員・編集委員・むつ支局長)

下北半島には、六ヶ所再処理工場を始めとする原子力関連施設が集中的に立地するだけでなく、福島第一原発事故を経た今日でも、下北地域は、我が国の原発推進勢力の急先鋒となっています。いかにして下北＝原子力半島が生まれたのか。長年に渡って下北地域取材されてきた隈元・元記者が、昨年のPart1(原子力船むつ)に続いて、核燃料サイクル基地の建設の歴史を振り返ります。



右上：六ヶ所再処理工場（朝日新聞）／左下：東通原発（SankeiBiz）／右下：大間原発（共同通信）

日時 2018年12月16日(日) 14時00分～16時30分(予定)

会場 弘前市民会館1階大会議室(弘前市白銀町1-6/TEL0172-32-3374)

参加費 300円

※終了後、近隣の居酒屋で懇親会を開催します。

主催 核燃・だまっちゃおられん津軽の会

お問い合わせ 核燃・だまっちゃおられん津軽の会事務局

(宮永崇史 TEL 0172-39-3551/E-mail: takaf@hirosaki-u.ac.jp)